

「ひとのあいだ」は、日生中学校の様子(学校・生徒の取り組み)を知っていただき、ご家庭と連携・協働していくため、そして(地域と共にある学校)の取組の一環として随時お届けします。

# 日生で輝く 日生が輝く

## 赤い羽根募金協力を

日生中生 有志 スーパーで呼びかけ



日生中  
（備前市日  
生町日生）  
スーパーで呼びかけ  
の生徒有志が8日、「赤い羽根共同募金」への寄付を呼びかける街頭活動を学区のスーパー・パオーネ日生店で行った。

市社会福祉協議会からの依頼に応えた113年の7人が参加した。初めは照れくさそうにしていたが、次第に慣れて「赤い羽根共同募金です。協力をお願いします」と声を



すると、「ありがとうございます」と礼を言っています」と礼を言っている。45分間にわたって活動。生徒会副会長を務める2年秋野柚月さん(13)は「困っている人の助けに少しでもなれば。次も多くの人が寄付してくれたらうれしい」と話した。

街頭活動に取り組む日生中の生徒有志 (平田知也)

17日にも、ぜひボラチャレンジ! →申込みは教頭先生へ (あと三名程度でメ切)  
2024年(令和6年)10月12日 土曜日 備前 28

# 備前



大相撲の中村部屋が10月13日、合宿のため和気町を訪れている。初日は部屋所属で町出身の三段目・和気乃風(31)が母校の和気中(同町泉)を訪れ、全校生徒約200人を前に中村親方(42)元関脇嘉風とともにキャリア教育講演会に臨んだ。町教委社会教育課の森元純一課長が聞き手を務めた。

大相撲中村部屋合宿

和気出身 和気乃風

母校で親方と講演

5年)の相撲会場になる2年前、本荘小4年生の時。相撲教室に参加して、将来はお相撲さんになりたいと思った。中学は柔道部に入り、相撲の稽古も続けた。

一兵庫県の高校に進み、寮生活を送った。

和気乃風 最初の1年は寂しかった。親元を離れてありがたさが分かった。高校でも大学でも仲間と団結して稽古に打ち込んだことで乗り越えられた。

- 玉野支社 0863-31-3434
- 備前支局 0869-64-2263
- 瀬戸内支局 0869-22-3444
- 赤磐支局 086-952-0049
- 福渡支局 086-722-0372

## 「夢を諦めず挑もう」



教育講演会を盛り上げる和気乃風(右)と中村親方

えられた。

一心を育てるには。中村親方 人に言われて育つものではない。自分で感じながら出来上がっていくものではないか。大事なのは好きなことに真剣に取り組む姿勢。だから楽しいし、心底悔しい。悔しい思いをしないうために何が必要か考え出すと、おのずと稽古の質も高くなっていく。

「これから壁にぶつかっていくのであつ、生徒メッセージを。

和気乃風 夢を諦めたらず(で)終わる。継続して挑んでほしい。

親方 困難を一人で解決するのは難しい。苦しい時、誰かが手を差し伸べて助けてくれる生き方をしてもいい。(平田知也)

10.23は、ひな中には、鳴門部屋さん来校  
人との出会いを大切に。「夢・進路」を考えよう。